

Katsuya SHINOHARA
U.S. Application No. 09/988,597
Our Ref.: 8006-1015

Record (See the Reference Citation List to obtain the
citation)

Reason 1

Claims 1, 5, 6 and 10
Citation: 1

Remarks:

In Citation 1, reference is made to a broadcast receiving system provided with a means for decoding keys in order to decode pre-encoded hidden data on the basis of key information obtained at the time of listening to a program in a digital broadcast.

Reason 1

Claims 1, 5, 6 and 10
Citation: 2

Remarks:

In Citation 2, reference is made to a broadcast receiving system provided with a means for obtaining a key in order to cancel a scrambled program on the basis of information obtained at the time of listening to advertising in a digital broadcast.

Reason 2

Claims 1, 5, 6 and 10
Citation: 3

Remarks:

In the Specification and Drawings initially attached to the application recorded in Citation 3, reference is made (in Figure 13 and Sections [0110]-[0112]) to the invention of a broadcast receiving system provided with a means for decoding data in order to decode a previously encoded primary program

on the basis of key information obtained at the time of listening to a back-up program in a digital broadcast.

Reason 2

Claims 1, 5, 6 and 10

Citation: 4

Remarks:

In the Specification and Drawings initially attached to the application recorded in Citation 4, reference is made (in Figure 4 and Sections [0116]) to the invention of a broadcast reception system provided with a means for obtaining a key in order to decipher pre-encoded additional data on the basis of key information obtained at the time of listening to advertising in a digital broadcast.

Reference Citation List

1. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 11-112950
2. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 10-164550
3. Japanese Laid Open Patent Application 2000-240644
(Japanese Laid Open Patent Publication 2002-57637)
4. Japanese Laid Open Patent Application 2000-214480
(Japanese Laid Open Patent Publication 2002-34007)

Record of the Examination Results relating to Documents of
the Prior Art

- Examined Technical Field: IPC 7th Edition

H04L 9/08
G09C 1/00
H04H 1/00
H04N 7/16
H04N 7/173

Documents of the Prior Art

Japanese Laid-Open Patent Publication 2002-116976

Japanese Laid-Open Patent Publication 2001-338212

The record of the examination results relating to documents of the prior art does not constitute the grounds for rejection.

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 5 5 1 2 3
起案日	平成 1 6 年 9 月 3 日
特許庁審査官	石田 信行 9 4 6 9 5 M 0 0
特許出願人代理人	▲柳▼川 信 様
適用条文	第 2 9 条柱書、第 2 9 条第 2 項、第 2 9 条の 2、 第 3 6 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許（実用新案登録）出願であって、その出願後に出願公告（特許掲載公報の発行又は実用新案掲載公報の発行）又は出願公開がされた下記の特許（実用新案登録）出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明（考案）と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許（実用新案登録）出願に係る上記の発明（考案）をした者と同一ではなく、またこの出願の時において、その出願人が上記特許（実用新案登録）出願の出願人と同一でもないので、特許法第 2 9 条の 2 の規定により、特許を受けることができない。
3. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 3 6 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。
4. この出願の下記の請求項に係る発明は、下記の点で特許法第 2 9 条第 1 項柱書に規定する要件を満たしていないので、特許を受けることができない。

記 （引用文献等については引用文献等一覧参照）

- ・理由 1
- ・請求項： 1, 5, 6, 1 0
- ・引用文献等： 1

[備考]

引用例1には、ディジタル放送における番組を視聴した時に得られる鍵情報に基づいて予め暗号化された秘匿データを復号化するための復号化鍵を得る手段を有する放送受信システムが記載されている。

- ・理由1
- ・請求項: 1, 5, 6, 10
- ・引用文献等: 2

[備考]

引用例2には、ディジタル放送における広告情報を視聴した時に得られる情報に基づいてスクランブルされた番組を解除するための鍵を得る手段を有する放送受信システムが記載されている。

- ・理由2
- ・請求項: 1, 5, 6, 10
- ・引用文献等: 3

[備考]

引用例3に記載された出願の願書に最初に添付された明細書又は図面には、ディジタル放送における副番組を視聴した時に得られる鍵情報に基づいて予め暗号化された主番組を復号化するための復号化データを得る手段を有する放送受信システムの発明が記載されている。(第13図, 【0110】～【0112】段落参照)

- ・理由2
- ・請求項: 1, 5, 6, 10
- ・引用文献等: 4

[備考]

引用例4に記載された出願の願書に最初に添付された明細書又は図面には、ディジタル放送における広告を視聴した時に得られる鍵情報に基づいて予め暗号化された付加データを解読するための鍵を得る手段を有する放送受信システムの発明が記載されている。(第4図, 【0016】段落参照)

- ・理由3

[備考]

特許請求の範囲に記載された発明の構成要素及び各々の構成要素間の関係が、以下の点において不明確である。

(1) 請求項3又は8の「前記連鎖鍵の受信と復号化と保存との一連の処理と、その連鎖鍵を用いる処理とを独立して実行するよう構成した」において、

1) 「連鎖鍵の受信と復号化と保存との一連の処理」と、請求項2の「連鎖鍵受信手段」, 「連鎖鍵保存手段」, 「連鎖鍵復号化手段」との関係が不明確であ

る。

2) 「その連鎖鍵を用いる処理」と、請求項2の「連鎖鍵受信手段」、「連鎖鍵保存手段」、「連鎖鍵復号化手段」との関係が不明確である。

3) 「連鎖鍵の受信と復号化と保存との一連の処理」とは、どのような処理を意味しているのか不明確である。

4) 「その連鎖鍵を用いる処理」とは、どのような処理を意味しているのか不明確である。

(2) 請求項5又は10の「任意の連鎖鍵の識別子を前記対象識別子として指定する」において、「前記対象識別子」の「前記」は、請求項1又は6の何を受けているのか不明確である。

・理由4

[備考]

特許請求の範囲に記載された発明は、以下の点において、具体的にどのようなハードウェア資源を用いて情報処理を行うのかを特定していないことから、自然法則利用の技術的手段を用いていないものであり、特許法第29条第1項柱書の特許要件を備えていない。

(1) 請求項6の「前記デジタル放送における複数の番組を視聴した時に得られる鍵情報に基づいて予め暗号化されたコンテンツを復号化するための鍵情報を得るステップ」の記載は、連鎖鍵放送システムのどのようなハードウェア資源を用いて、コンテンツを復号化するための鍵情報を得るのかを特定していないことから、ハードウェア資源を用いて具体的に実現されているとは認められない。

(例えば、図1の連鎖鍵放送システムに記載されている連鎖鍵受信手段、連鎖鍵復号手段、連鎖鍵保存手段などを用いて処理を行っていることを記載することにより、ハードウェア資源を用いて具体的に実現されていることを明確にすることを検討して下さい。(2)においても同様。)

(2) 請求項7の「前記コンテンツを復号化するための連鎖鍵とその鍵識別子とその鍵が復号化する連鎖鍵を示す対象鍵識別子とを受信するステップと、前記対象鍵識別子を用いて既に保存されている連鎖鍵を取出すステップと、その取出された連鎖鍵を用いて受信した連鎖鍵を復号化して新たな連鎖鍵を生成するステップ」の記載は、連鎖鍵放送システムがどのようなハードウェア資源を用いて、

1) 連鎖鍵とその鍵識別子とその鍵が復号化する連鎖鍵を示す対象鍵識別子とを受信するのか、2) 対象鍵識別子を用いて既に保存されている連鎖鍵を取出すのか、3) 受信した連鎖鍵を復号化して新たな連鎖鍵を生成するのかを特定していないことから、ハードウェア資源を用いて具体的に実現されているとは認められない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には

